

ふくつか 福束排水機場 『新技術のポンプ』 わのうちょう 輪之内町が視察！



■12月3日（火） 現場見学会を開催！

福束排水機場は、岐阜県安八郡輪之内町を流れる大樽川が揖斐川に合流する地点に設置されています。大雨の時、揖斐川の水位上昇により、大樽川から揖斐川への自然排水が出来なくなった時、排水ポンプを運転し大樽川の水を揖斐川へ強制的に排水する施設です。福束排水機場は、これまで3台のポンプが稼働（排水量約18m³/s）してきましたが、今年度、4台目のポンプを増設し、計画排水量（排水量26m³/s、完成機場）の排水が可能となります。

この度、増設する4台目のポンプ製作が完了したことから、場内の据付作業前に、地域の皆さんに見ていただくための「現場見学会」を開催しました。



■中部初の設置 新技術のポンプを採用！

増設するポンプは、ステンレス製で耐食性が向上するとともに、従来より軽量化しメンテナンスが容易となった「製缶製」という新技術を採用することで、施設の長寿命化を図ります。この「製缶製」という新技術によるポンプは、中部地方では初の設置となります。



■輪之内町の関係者36名が見学会に参加！

見学会当日は、輪之内町の木野町長をはじめ、役場関係者、町議会議員、区長会の方々など総勢36名の方々に参加をしていただきました。

見学会では、福束排水機場の概要や今回増設するポンプの概要などについて、木曽川上流河川事務所及びポンプメーカーの担当者から説明をさせていただいた後、ポンプ他、原動機の冷却水用熱交換器などを見学していただきました。

なお、今回の現場見学会の様子は、輪之内町のケーブルテレビにおいて、後日、放映が予定されているとのことです。



ポンプメーカーの担当者による概要説明



左：木曽川上流河川事務所（浅野事務所長）
右：輪之内町（木野町長）



輪之内町議会の皆さん



施設の構造について、熱心に聴取する木野町長ら



外部施設の見学の様子



大型の管内クーラーを見学する参加者